

Japan Tug of War Federation magazine

TSUNA・綱

2025
夏号



つなフェス

「それ引け! つなひきスクール」 in 京都

トピックス

本田労組イベント綱引大会をお手伝いしました!
大手町・丸の内・有楽町仲通り綱引き大会へ潜入取材!
定時社員総会 報告

スポーツ♡CL



すべてのスポーツにエールを

スポーツ♡CLの収益は、日本のスポーツを育てるために使われています。



スポーツ振興基金助成事業
独立行政法人日本スポーツ振興センター

副会長 ごあいさつ

公益社団法人 日本綱引連盟
副会長 江畑 芳幸



「2025ジュニア・ユース綱引選手権大会」、「わたSHIGA輝く国スポ2025・綱引競技会」また、本年度より主催事業となりました「西日本綱引選手権大会」を含めまして各チームは上位を目指し練習に励み、審判員も技術向上に努め、開催地のご協力とご理解を頂きながら開催させていただいております。ジュニア・ユース大会、国スポ少年の部での出場チームが増加していることは、次の世代への競技者につながってもらえるのではと期待をせずにはおれません。

近年、多くの競技が大会会場を求め、私達の大会開催地選定も難航する事がありますが、少しでも早くお知らせし、多くのチームの皆様の年間計画に綱引競技会を入れておいていただけるよう努力してまいります。

6月の連盟定時社員総会では令和7年度の事業につきましてご承認いただき、その後「東日本綱引選手権大会」、「2026全日本綱引選手権大会」や各研修会を計画しており多くの関係者の参加をお願いします。

ジュニア層の育成はユース、競技者の増加につなげるための大切な取り組みとして「綱引スクール」の開催、また文部科学省が進める、中学校部活動の外部指導者への移管事業にともない、今まで取り組まれていなかった種目も検討していただく機会ともなっております。何事も始めは点での取り組みではありますが、それを面の活動に広げて普及発展につなげたいと思っておりますので、皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



※全日本ジュニア・ユース綱引選手権大会、国スポは次号で掲載予定です

2025
公益社団法人
日本綱引連盟

定時社員総会 報告



令和7年6月7日土曜日午後1時より JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 3階会議室に於いて開催された。正会員総数48名の内、出席正会員23名、委任状25名で総会は成立した。

石井会長の挨拶で、財政の厳しい中ではあるが、組織強化の為に邁進する、又理事会に於いて、東日本綱引選手権大会と西日本綱引き選手権大会が日本連盟の主催で開催する事になった旨報告がされた。

議長を会長が務め議事が進行された。令和6年度事業報告でA審判員の登録数が減少している。競技者の底辺拡大に務めるため、子供たちや綱引初心者に競技綱引を体験してもらう「つなひきスクール」を開催している等の報告がされた。又、決算報告がなされ各々承認された。また、茨城県綱引連盟が設立され、加盟団体として承認された。



国際委員長から現在の国際連盟の事情について報告があった。

総会に続いて、全国会長理事長会議が落合総務委員長の司会で開催された。各地方連盟に問題点を出して貰いたい旨の会長挨拶の後、フリートークングに入った。

日本連盟の財務状況についてはコロナ禍以降、選手数、審判員数が減少している。徐々に増加の傾向にあるが以前のようにない。地方のサポーターを集めて貰いたい旨の説明があった。

◆群馬県から

- ・理事会で決定した事項や、各委員会での方針を地方連盟に指示して貰いたい。
- ・組織運営には予算が必要になる。組織を見直す必要がある。
- ・各イベントで「綱引」を活用する方法を考えられないか？
例えば中学校のイベントとして地区の中学生を集めて大会を行うなど

◆愛知県から

- ・項目毎に細かく金額を算出し金額を見直す必要があるのでは。

◆神奈川県から

- ・企業、団体からの協賛金は中々得られない。大会のスポンサーとして広告協賛を頂いている。組織運営は会員の会費で賄っている。

◆静岡県から

- ・地方の大会では小口の広告を集めて運営している。
- ・等各地方からの意見が出され会を終了した。

総会後、JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE近くのレストランで懇親会が開催され、会員同志の情報交換など、しばらくぶりに懇親を深めた。



つなフェス「それ引け！つなひきスクール」 in 京都

令和7年6月15日(日) 元今熊野小学校
(京都市東山区)にて、つなフェス「それ引
け！つなひきスクール」が開催されまし
た！ 小学生から高校生まで、またその
保護者さまも参加し、約100名の参加、わ
いわい賑やかな体験教室になりました。

それ引け！つなひきスクールは、スポーツくじ助成事業として日本綱引連盟主催、開催地綱引連盟が主管となり“運動会の綱引きから競技としての綱引へ”を目的に普及活動として2023年よりはじまり、各地で開催されています。

雨で参加者が心配されましたが、続々と集まる集まる！元気な子供達であつという間に体育館はいっぱいになりました。地元の高校書道部による書道パフォーマンスで歓迎をうけ、つなひきスクールが開会されました。

2019全日本綱引選手権大会で優勝、世界インドア綱引選手権大会に出場経験も

ある京都消防ろぶすたぁのアスリートの皆さんのデモンストレーションでは、競技としての綱引を間近で感じ、そのかっこよさに参加者のみんなやる気十分！

丁寧なレクチャーを受けながら体験し、後半はチームに分かれていざ対戦です。

保護者さまや、地元の方、応援にかけつけた警察官の方なども体験され、子供たちの声援を浴びながら明日の筋肉痛の心配はよそに、汗を流していました！

初めて会ったお友達でも、同じチームになって一緒に力を合わせてがんばったらすぐに仲良くなれるスポーツ「つなひき」。最後はみんな「あと1本! もう1回!」とハマってなかなか終わりません(笑)

綱引き、楽しいですね！ ぜひ大会にも出場してください。小さなアスリートの皆さん、お待ちしております！

関係者のみなさまもお疲れ様でした。



2019全日本チャンピオンの京都消防
ろぶすたあの皆さんがわかりやすく
ルールを説明してくれました



やさしく教えてもらって いざ！



東山区長 坂根正樹様(左)と石井会長。熱い声援をありがとうございました！



京都市立日吉ヶ丘高等学校書道部のみなさんによる書道パフォーマンスも！

この事業は、スポーツ振興くじ助成金を受けて開催されました



すべてのスポーツにエールを

スポーツへの収益は、日本のスポーツを育てるために使われています。



本田労組イベント綱引大会をお手伝いしました！



今回初めての開催となる本田労組イベント綱引大会。三重県綱引連盟が、レーンマットの貼り方などの事前指導、大会運営のための会場下見、大会当日の審判員と、全面的にバックアップさせていただきました！

女子も加わったチームもあり、熱戦の試合が多くみられ、

大変有意義な大会でありました。仲間でチームを作り1本の綱を引く、とてもシンプルな競技ですが、だからこそ誰でも参加でき、誰もが熱くなれる生涯スポーツです！ぜひ綱引に興味を持っていただき、第2回大会が開催されることを期待いたします！

大会情報

- | | | |
|----------|-------|--|
| 1 開催日 | | 令和7年5月11日(日) |
| 2 開催場所 | | 三重県津市北河路19-1メッセウイングNHW
(産業振興センター大ホール) |
| 3 内 容 | | |
| ・大会名 | | 本田労組イベント綱引大会 |
| ・イベント来場者 | | 1,225名 |
| ・綱引参加チーム | | 12チーム
(予選トーナメント及び決勝トーナメントで実施) |
| ・綱引参加者 | | 144名 |
| ・こども参加者 | | 421名 |
| 4 その他 | | 三重県綱引連盟から、審判員4名が出向 |

本田労組の皆さん
県大会でお待ちしております！



大手町・丸の内・有楽町 仲通り綱引き大会へ潜入取材！

さわやかに晴れた5月22日、東京の玄関口である東京駅目の前の丸の内エリアは、すでに活気に包まれていました。なぜかみんなそわそわしている…そう、この日は大手町・丸の内・有楽町 仲通り綱引き大会決勝戦の日。2017年から始まった本大会、大手町・丸の内・有楽町 仲通り綱引き大会実行委員会(構成:三菱地所株式会社、一般社団法人 大丸有地区まちづくり協議会、NPO法人 大丸有エリアマネジメント協会)が主催、東京都綱引連盟が全面協力のもと開催されています。



スタイリッシュな商業施設やオフィスが並ぶこのエリアで、ランチタイムに続々と集結してくるプラー達(皆オフィスワーカーです笑)、大勢の応援団。道行く観光客も立ち止まり、4日間にわたる予選リーグを勝ち抜いてきた企業チームによ



る決勝トーナメントがスタートしました！

チーム編成もそれぞれ、ワイシャツにスラックスで参加する選手、オリジナルユニフォームで気合の入ったチーム、スポーツマンやマッジョ系を助っ人に入れたチーム、そこはもうガチの綱引対決。皆さん本当にお仕事中心！？って思うほどの本気ぶりに終始圧倒されました。1時間は本当にあっという間で、大応援団の大きな声援と歓声で次々と試合が運ばれ、いよいよ決勝戦は、ソニー生命VS日本郵船。どちらも引けを取らず、大接戦の末、ソニー生命が優勝しました！

参加されたすべてのチームの皆さん、観客の皆さんがまさに「みんなで力と心をひとつにした」楽しい綱引きイベントでした！

日本綱引連盟公式サポーター ご協力をお願い



詳しくは
当連盟まで

設立趣旨

現在当連盟では「日本綱引連盟公式サポーター」を立ち上げご加入いただき、応援してくださる方々を募集しております。この制度は、当連盟が寄付金の税額控除適用法人であることをご利用いただき、多くの企業や個人の方々のご支援のもとに青少年健全育成・国体正式種目早期実現・中高校生の部活取り入れ・世界大会自国開催・選手人口増加に役立させていただいております。

日本綱引連盟は、これからも綱引き文化の継承・発展のため自治体や教育文化関係等の方々と協力し、活動して参ります。詳しくは当連盟スタッフより、ご説明させていただきますので、何なりとお申し付けください。

公益社団法人 日本綱引連盟
会長 石井 良之

募集要項

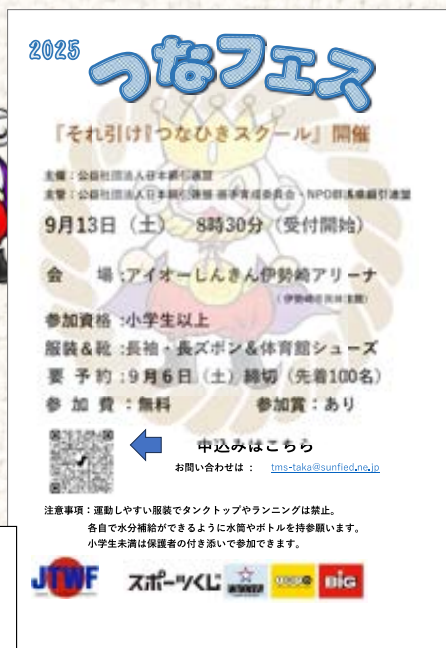
ご支援会費 (年会費)	法人	30,000 円
	個人	10,000 円

特典

- ①連盟発行 綱引情報誌のお届け
- ②オリジナル会員証の発行(個人)
- ③認定書の発行(団体)
- ④主催大会へのご招待
- ⑤大会プログラムへのご芳名掲載と
大会プログラム・大会記録冊子の進呈
- ⑥寄附金税額控除摘要(証明書の発行)



今年度開催の イベント



群馬会場は9月13日(土)開催！



静岡会場での開催は10月5日(日)

これからももっと、
私はスポーツを楽しむんだ。

卓球歴24年。バスケ歴1日。

卓球の200倍もの重さがあるボールは、
なかなか言うことを聞いてくれない。

それでも、体を動かすだけで気持ちがいい。
初対面でもあっという間に仲間になれる。
競技人生での楽しさとは違う、
スポーツの楽しさに出会えた。



スポーツを極める人も、楽しむ人も、
すべての人のために、
スポーツくじの収益は使われています。

スポーツくじ   

スポーツくじは、スポーツと人を育てる仕組み。

18歳未満の方の購入又は譲り受けは法律で禁じられています。払戻金も受け取れません。運営・販売・独立行政法人日本スポーツ振興センター

各県連ならびに各チームの皆様へのお願い

本書の制作にあたり、必要な情報は右記宛先までご寄稿を賜りたく、
ご協力の程をよろしくお願い申し上げます。

宛先 E-Mail : seisekisan@gmail.com

住所 〒010-1613 秋田市新屋朝日町 23-12

櫻庭 星治 宛

発行日 2025年8月30日
発行 公益社団法人日本綱引連盟

JTWF
Japan Tug of War Federation
公益社団法人 日本綱引連盟

〒160-0013
東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 408号

[TEL] 03-5843-0457

[H P] <https://www.tsunahiki-jtwf.or.jp/>
[MAIL] jtwf@tsunahiki.net